様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第１・２・３学年 歴史的分野	歴史・729	新しい社会　歴史
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　歴史のとらえ方に関する内容 　小学校で学習した歴史上の人物や文化財を時代毎に表にまとめたり、テーマの決め方、考察やまとめのポイントを基に身近な地域を調べたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　古代までの日本に関する内容 　世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について道具、食べ物、生活の観点から違いをまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　中世の日本に関する内容 　平氏の政治と摂関政治を比較して共通点や違いについて整理したり、室町時代の文化財を取り上げ、その文化財から室町文化の特色を説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近世の日本に関する内容 　織田信長と豊臣秀吉が行った政治について戦国大名の政策と比較してまとめたり、化政文化の特色について学問、文芸、絵画の分野毎に説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近代の日本と世界に関する内容 　ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について日本にとって不利な点をまとめたり、第一次世界大戦の前後で欧米を中心にどのような変化があったかを説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　現代の日本と世界に関する内容 　高度経済成長の影響についてプラス面とマイナス面から説明したり、冷戦後の国際社会の動きについて対立と協調の二つの側面から説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　「この時代の特色をとらえよう」において、時代を大きく動かした出来事を比較表や新聞、年表を用いてまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを短文で表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。 ○　内容の分量 　「歴史のとらえ方」は14ページ「古代までの日本」は44ページ、「中世の日本」は34ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は37ページであり、総ページ数は271ページで、前回より約9%増となっている。			
使用上の配慮等	○　アイヌの人たちの歴史や文化について、「蝦夷錦を着たアイヌの首長」の図版を取り上げたり、江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の写真を取り上げたりするなど、 生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「歴史スキル・アップ」において、様々な歴史の学習の仕方を提示したり、「えんぴつマーク」において、具体的な作業や活動の仕方を提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できるよう、朝鮮、中国、欧米の時代区分の項目を位置付けた年表を掲載するとともに、学習を深めることができるよう、巻頭に「日本の国宝・重要文化財」、巻末に「各地の主な史跡」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について 21 箇所、北方領土について 9 ページが取り上げられている。 ○　近代史の部分から、学習内容に関連する新聞記事を取り上げ、歴史を学習する上で新聞が効果的な教材であることを示すなど、メディアリテラシーが身に付くよう配慮されている。 ○　資料には見開きなどのまとまりで通し番号を付け、対応する本文の上に当該の図番号を付すなど、授業で指示しやすいよう配慮されている。			